

中津川市在住、篠原紘一様より「父の遺品整理中に発見しました。御校に関わるものと思われるので寄贈します」との連絡とともに9枚の絵はがきが届けられました。1921年（大正10年）11月21日に旧制・東濃中学校で行われた「発火演習」（軍事教練）の様子を記した貴重な資料です。本校同窓会館（百年会館）展示室に展示させていただくとともに、学校HPにて皆さんにご紹介します。

「赤陵百年誌」の「大正10年度」の頁に当時の「発火演習」についての記述がありました。

『比衣の里・高倉と中山道に沿う一帯の地は、今や戦雲厚く漲（みなぎ）りて殺氣満々たり。両軍の指揮官の打ち振る三尺の秋水（指揮刀）は、彼方の山陰・此方の森、さては畦畔・草原にと、折から秋の日差しを受け、皎々として稻妻のそのの如く、叱咤号令の声の百雷は、轟々たる銃声と相争いて物凄く、実践のそれにも劣らずなん思われて壮なり。』【校友会誌21号の記事】





(一其) 况實習演火發季秋校學中濃東



(二其) 况實習演火發季秋校學中濃東





行發會スラク年五

(二其)

習演火發期秋校學中濃東



行發會スラク年五

(三其)

習演火發期秋校學中濃東





(三其) 況實習演火發季秋校學中濃東



行發會スラク年五

(四其)

習演火發期秋校學中濃東





(五其) 況實習演火發季秋校學中濃東



(六其) 況實習演火發季秋校學中濃東



(七其) 况實習演火發季秋校學中濃東